

9/12 島根

島根2号機 再稼働へ

中国電力 来年8月30日圏に45万人

中国電力は11日、島根原発2号機（松江市）を2024年8月に再稼働すると発表した。全国で唯一、県庁所在地にある原発で、避難計画の策定が必要な30キロ圏に島根、鳥取両県の6市が入る。事故時に圏内の約45万人が安全に避難できるかどうかが課題となる。

東京電力福島第1原発と同じ「沸騰水型」と呼ばれるタイプ。このタイプでは、東北電力が24年2月に女川2号機（宮城県）の再稼働を目指している。

中国電力によると、島根2号機は24年6月に核燃料の装荷を開始。8月に原子炉を起動し、9月に営業運転を再開する予定。丸山達也島根県知事は「規制委には引き続き厳格な審査・確認を、中国電力には真摯な対応を求めている」とコメントした。

島根原発は、県庁や松江市役所から約9キロに立地。

避難先は島根、鳥取両県内だけでなく、岡山県と広島県も想定している。2号機は12年1月に運転を停止。21年9月に再稼働の前提となる規制委の審査に合格し、22年6月、丸山知事が再稼働に同意した。24年5月に安全対策工事を完了する予定。1号機は廃炉作業中で、3号機は新規稼働に向けた規制委の審査中。